

評議員会議事録

日時：2003年3月25日(火) 12時30分～13時30分

場所：東北大学川内北キャンパス会議室

出席者：井上、太田、岡村、海部、小山、柴田、須藤、福井、舞原、牧島、吉井、家、池内、木下、小杉、佐藤（勝）、高津、谷口、長谷川、林、松田、渡部 以上22名

欠席者：加藤、千田、高橋、高原、石黒、佐藤（修）、中村、野本 以上8名

有効委任状提出者：高橋、高原、石黒、中村、野本 以上5名

他に理事会から、祖父江、若松、杉山、郷田、関井、松原、土居が参加した。

議事に先立ち、議長及び署名人を選出した。

議長：柴田一成

署名人：木下大輔、高津裕通

報告：

1. 前回議事録の確認（資料1）

一部字句を修正ののち、承認された。

2. 2003年春季年会について

開催中の年会に関して、講演数、参加者数などの基本事項が土居理事より報告された。また、記者会見とその後の報道状況についても報告があった。

3. 第19期日本学術会議会員候補者等の選挙結果について（資料2）

牧島評議員より、標記候補者の選挙結果、及び評議員会での選考経緯と結果について報告があった。会員候補者、推薦人、推薦人予備者は次のように決定された。

会員候補者：一位候補者 池内 了

二位候補者 海部宣男

推薦人：観山正見、牧島一夫

推薦人予備者：小杉健郎

4. 創立100周年記念出版事業編集委員会について（資料3）

杉山理事から理事会における標記編集委員会委員決定の経緯が報告され、また岡村評議員（編集委員長）から補足説明があった。今後、会員を対象に、内容に関するアンケートをとる予定であり、総会で岡村氏からアナウンスする予定である。

5. 天文月報編集委員の増員について

郷田理事より、ぐんま天文台の濤崎智佳（とさきともか）氏を、理事会で承認の上、編集委員に追加したことが報告された。

6. 今季総会について

杉山理事より、今季総会の議題などについて報告があった。

7. その他

(ア) 声明：天文・宇宙に関する生涯学習の場の確保を（資料4）

杉山理事より、西はりま天文台黒田氏より天文学会に声明文の発表依頼があった。標記声明文に関して、依頼の趣旨、理事会での検討結果が報告された。この原案を天文学会名で発表したいとのことであったが、若松理事、佐藤（修）理事が黒田氏とともに原案を練り直すというのが理事会の方針である。その後意見交換を行った。小杉評議員からは、自然科学の生涯学習はけっして天文学会だけの問題ではなく、他の関連諸学会と連携しつつ進めるという視点が重要であること、海部評議員からは、内容が茫漠としており、誰にどうしたいのかが明確でないとの指摘があった。

(イ) 日本学術会議天文学国際共同観測専門委員会アンケート

福井評議員より、標記専門委員会（委員長：福井評議員）が、国際共同観測に関するアンケートを行っているので協力をお願いする旨報告があった。

(ウ) 日本学術会議主催小柴記念シンポジウム

池内評議員より、5月14日学術会議講堂で行われる標記シンポジウムについて案内があった。特に若手に出席を勧めてほしいとのことである。

(エ) 春季年会ALMAセッション報告

長谷川評議員より、ALMAセッションに関して報告があった。270名の参加者を得て盛会であった。

(オ) 学生の旅費補助について

高津評議員から、正会員（学生）への旅費補助の継続に関する検討資料として、学生が所属している各研究室から旅費支給の実態調査を行っているとの報告があった。研究機関によって、科研費から学生の学会旅費が支出できるところとできないところがある、という状況が明らかになってきている。最終的な調査結果は、次回評議員会で報告する。

議題：

1. 総合科学技術会議に対する声明文について

関連諸学会と共同で標記声明文をまとめる件に関して、佐藤（勝）評議員から進行状況の報告があった。物理学会では、北原物理学会長が主導して、物理学会理事会で取り扱いを協議しているとのこと。さらにその後の物理学会の動きとして、須藤評議員（物理学会理事）より、北原会長が他のいくつかの学会に呼びかけ、トップダウン政策の問題点を指摘するだけでなく、現在議論が急ピッチで進められている科研費の審査・配分システムについてピア・レビュー制度を核とする現行制度の長所を危うくすることのないように、という趣旨の声明文の改訂版を物理学会が中心となって準備しつつあることが報告された。天文学会としては、北原会長の案文をできるだけ早い機会に入手し、評議員会としてそれを検討し対応する。

2. その他

(ア) 名誉会員について

杉山理事より、名誉会員の制度の活用に関する理事会での議論の紹介があり、その後意見交換を行った。なかで、資格についての具体的な提案や、明確な推薦理由の必要性、学問業績だけでなく社会的、国際的貢献なども尺度にすべきである、などの意見が述べられた。また複数の評議員より、名誉会員の制度を運用することの難しさについて懸念が表明された。

(イ) 次回以降の日程

次回の評議員会は、7月5日(土)午前11時に国立天文台（三鷹）で行うことを確認した。次々回については、秋季年会中の9月26日(金)昼休みに開催する予定である。

2003年4月25日

議長 柴田一成 印

署名人 木下大輔 印

署名人 高津裕通 印